

## Ⅲ 教育活動

### 1 農場実習

#### 1) 実習の概要

当農場は、年間12科目、延べ129日、426名の学生に対して、計12単位の実習を行い、農業の科学的基礎である農学理論の実践の場、生物生産技術革新のための実験の場、生物生産業としての農業を支える農業経営者の育成の場として、本学農学部教育の理念を支える重要な役割を果たしている。実習は、畜産、果樹、野菜、花卉、作物、施設園芸といった農業のほぼ全分野にわたっており、植物、動物のライフサイクルをとおした体系的な実習を特色としている。

農場実習の学科（コース）別の科目、単位数および実習の種類は、第8表のとおりであり、平成19年度からは学理と実習を統合した新実習体制（兼任教員制）の基、教員と技術職員が一体となって効率的な農場実習を進めている。なお、前述のように農学部は平成28年度（2016年度）に改組を行った。改組は学年進行のため、平成28年度入学生からは新しいカリキュラムに則って進行していくことになる。

第8表 学科別実習科目，単位，人数および実習の種類

学部・コースなど	学年	実習科目	単位	必修	人数	実習の種類
通 年						
農業生産科学科	1	農業生産科学農場実習	1	必修	80	集中3日間（2回）
応用植物科学	2	農場実習	1	必修	41	集中3日間（2回）
食環境制御科学	3	暖地農業実習	1	必修	25	集中3日間（2回）
	4	家畜生産学実習Ⅱ	1	選択	28	集中3日間（随時）
前 期						
応用植物科学	3	農場実習Ⅱ	1	必修	35	毎週1回火曜日半日
畜産科学	2	牧場実習	1	必修	29	集中5日間（1回）
共同獣医学部	4	獣医臨床基礎実習	1	必修	33	集中5日間（1回）
後 期						
応用植物科学	2	農場実習Ⅰ	1	必修	41	毎週1回火曜日半日
食料農業経済学	2	農業生産学実習	1	必修	11	毎週1回金曜日半日
地域環境システム学	2	農業生産学実習	1	必修	31	毎週1回金曜日半日
応用植物科学	3	農場実習Ⅲ	1	必修	41	集中（随時）
国際食料資源学特別	2	フィールド実習	1	必修	31	集中4日間（1回）

#### 2) 兼任教員

平成19年度から、農場実習の質的向上を図るため、学理と実習を統合した兼任教員制を導入した。現在、農学部長から委嘱された下記の26名の兼任教員が、それぞれの専門に関する実習教育に携わっている。なお、前述のように平成28年度（2016年度）に改組を行ったので教員の所属などは新学部体制に従った。

##### 農業生産科学科

- 准教授 下田代智英（作物学教育研究分野）
- 教授 坂上 潤一（熱帯作物学教育研究分野）
- 教授 志水 勝好（比較環境農学教育研究分野）
- 准教授 角 明夫（作物生態学教育研究分野）
- 准教授 一谷 勝之（植物育種学教育研究分野）
- 教授 山本 雅史（果樹園芸学教育研究分野）
- 准教授 香西 直子（果樹園芸学教育研究分野）
- 准教授 吉田理一郎（蔬菜園芸学教育研究分野）
- 教授 橋本 文雄（観賞園芸学教育研究分野）
- 准教授 清水 圭一（観賞園芸学教育研究分野）
- 教授 岩井 久（植物病理学教育研究分野）
- 准教授 中村 正幸（植物病理学教育研究分野）
- 教授 津田 勝男（害虫学教育研究分野）
- 准教授 坂巻 祥孝（害虫学教育研究分野）
- 准教授 大久津昌治（家畜繁殖学教育研究分野）
- 教授 三好 和睦（家畜繁殖学教育研究分野）
- 教授 岡本 新（家畜育種学教育研究分野）
- 准教授 下桐 猛（家畜育種学教育研究分野）

教授 中西 良孝 (家畜管理学教育研究分野)  
 准教授 高山 耕二 (家畜管理学教育研究分野)  
 教授 後藤 貴文 (食肉科学教育研究分野)  
 教授 大塚 彰 (栄養生化学・飼料化学教育研究分野)  
 准教授 井尻 大地 (栄養生化学・飼料化学教育研究分野)

農林環境科学科

教授 岩崎 浩一 (農業環境システム学教育研究分野)  
 助教 末吉 武志 (農業環境システム学教育研究分野)

自然科学教育研究支援センター 遺伝子実験施設

教授 田浦 悟

3) 実習科目毎の日程および内容

(1) 農業生産科学農場実習 (必修)

対象：農業生産科学科1年，80名

日程：集中実習 (1期3日間・2期3日間)

単位：1

実習施設：学内農場農事部，唐湊果樹園，指宿植物試験場，入来牧場

担当教員：遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎・山本雅史・香西直子・橋本文雄・清水圭一・下田代智英

担当技術職員：野村哲也・中野八伯・濱田延枝・有働稜嗣・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・谷村音樹・田浦一成・勘米良祥多・片平清美・松元里志・富永 輝・石井大介・柳田大輝・飯盛 葵

目標：農業経験のない学生に生物生産のための基礎的技術を体験させ，生物生産の多面性および有機性を認識させる。

内容：非宿泊施設 (学内農場農事部・唐湊果樹園) から1カ所，宿泊施設 (指宿植物試験場，入来牧場) から1カ所を選択させ，第9表に示すような普通・園芸作物，施設園芸，家畜生産についての基礎的な実習を行う。

第9表 農業生産科学農場実習の実習内容 (平成30年度)

分野別の実習内容				
月日	学内農場農事部	唐湊果樹園	指宿植物試験場	入来牧場
2018				
9/26	水稲収量調査，タマネギ播種	果樹園の草生管理，ビワの副梢管理	施設見学・説明，サトイモ収穫・調整，パッションフルーツ挿し木	オリエンテーション 施設見学 行動観察
9/27	イネ水選，水耕栽培の説明と管理，サツマイモ蔓払，トルコギキョウ定植，キク挿し芽	果樹園堆肥施用，農作業機械操作	栽培施設の管理，農作業機械操作，ソラマメ定植，プロックリー追肥	ハンドリング ロープワーク ブラッシング 体重測定
9/28	根菜類畝たて，根菜類の畝立て・マルチ・播種	果樹鉢苗管理，防風樹管理	花苗の鉢上げ，パッションフルーツベット管理，セロリ播種	体尺測定 鼻紋採取
2019				
2/27	麦類形態観察，花卉類管理	カンキツ園施肥，カンキツ収穫	施設見学・説明，農作業機械操作，ソラマメ・セロリ管理，	オリエンテーション 施設見学 行動観察
2/28	果菜類育苗管理，ポット準備	落葉果樹の剪定，果樹鉢苗の管理	マンゴー管理，観葉植物の鉢上げ・鉢替え，ゴレンシ接ぎ木，アセロラ取り木	ハンドリング ロープワーク ブラッシング
3/1	圃場除草管理，露地野菜管理	防風樹管理，農作業機械操作	栽培作物管理，熱帯果樹苗の鉢上げ，ジャガイモ管理	体重測定 体尺測定 鼻紋採取

(2) 農場実習 (応用植物科学コース) (必修)

対象：応用植物科学コース2年 (3期～4期), 41名

日程：集中実習 (3期3日間, 4期3日間)

単位：1

実習施設：学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場

担当教員：遠城道雄・朴 炳宰・下田代智英・山本雅史・香西直子・橋本文雄・清水圭一

担当技術職員：野村哲也・中野八伯・濱田延枝・有働穰嗣・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・谷村音樹・田浦一成・勘米良祥多

目標：農業生産科学農場実習で習得してきた栽培技術を再確認するとともに, 普通・園芸作物に関する栽培技術をより向上させる。

内容：第10表に示すように, 指定された実習施設において, 普通作物および園芸作物に関する専門的な実習を行う。

第10表 農場実習 (応用植物科学コース) の実習内容 (平成30年)

		施設別の実習内容		
月日	学内農場農事部	唐湊果樹園	指宿植物試験場	
2018				
8/9		果樹園の草生管理, カンキツ施肥, 防風樹管理, 果樹鉢苗管理, カンキツ摘果		
10				
11				
8/21			マンゴー鉢替え・誘引・剪定, パッションフルーツ鉢替え・アンドン支柱・誘引, オクラ・空心菜収穫, マンゴー接ぎ木, ソラマメ播種, パッションフルーツ挿し木, グレンシ誘引・追肥, 栽培施設管理	
22				
23				
9/19	トルコギキョウ管理, キク挿し芽, 水			
20	稲生育調査, 伝統野菜播種, タマネギ			
21	播種, 農業機械操作, 甘藷除草			
2019				
2/18		カンキツ施肥, カンキツ収穫, 剪定, 果樹植付け, 鉢・苗管理, 防風樹管理		
19				
21				
2/21			ライチの取り木, サトイモ育苗, パッションフルーツ管理, グレンシ接ぎ木, マンゴー花吊り, コーヒー挿し木, 熱帯果樹の鉢上げ, プーゲンビリア誘引, セロリ管理, 堆肥散布・敷きワラ	
22				
23				
4/4	麦類形態・生育調査, タマネギ収穫・			
5	調整, 苗物類の販売準備, 生産苗の販売			
6	実習			

(3) 農場実習 I (応用植物科学コースA) (必修)

対象：応用植物科学コース2年 (4期), 21名

日程：半日実習 (毎週火曜日)

単位：1 (15週)

実習施設：学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場

担当教員：遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎・下田代智英・志水勝好・一谷勝之・山本雅史・香西直子・橋本文雄・清水圭一・吉田理一郎・田浦 悟

担当技術職員：野村哲也・中野八伯・濱田延枝・有働穰嗣・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・谷村音樹・田浦一成・勘米良祥多・片平清美・松元里志・富永 輝・石井大介・柳田大輝・飯盛 葵

目標：農業全般に関する基本技術の習得, 普通作物, 園芸作物のライフサイクルおよび普通作物, 園芸作物および家畜糞尿処理と自然環境の関係を理解させる。

内容：第11表に示すように, 附属農場4施設 (学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場) を回り, 普通作物, 野菜, 花卉, 果樹, 熱帯作物および家畜・堆肥製造のライフサイクルを通じた観察と管理技術の習得を目指した実習を行う。

第11表 農場実習Ⅰ（応用植物科学コースA）の実習内容（平成30年度）

分野別の実習内容							
月日	水稻・普通作物	野菜	花卉	果樹	熱帯作物	家畜	
2018							
10/ 2	オリエンテーション, サツマイモ収穫・調整	根菜・葉菜類播種					
9					農業施設ビニル張り, ソラマメ・熱帯果樹管理, トマト定植		
16				カキの収穫・脱渋			
23	ケナフ収穫・調整, イネ収穫, 糶摺り	根菜・葉菜類間引き, マメ類管理, ネット張り	キク・トルコギキョウ定植				
30				カンキツへの秋肥施用, 土壌管理			
11/ 6				ビワの摘蕾			
13					ヤムイモ収穫, ジャガイモ定植, ソラマメ摘蕾		
27				温州ミカンの収穫			
12/ 4		タマネギ定植 マメ類管理					
11				カンキツ袋かけ			
18					セロリ定植, グレンシ摘果, マンゴー花吊り, スワルスキー防除		
25	小麦播種	根菜類収穫, 食味官能試験	キク・トルコギキョウ管理				
2019							
1/ 8							家畜の取扱い・家畜糞尿の観察
15	小麦中耕・追肥・踏圧	自主栽培説明 根菜類収穫	キク収穫				
22				落葉果樹の剪定			

注) 普通作物, 野菜, 花卉: 学内農場農事部・指宿植物試験場, 果樹: 唐湊果樹園, 熱帯作物: 指宿植物試験場, 家畜: 入来牧場

(4) 農場実習Ⅰ（応用植物科学コースB）（必修）

対象: 応用植物科学コース2年(4期), 20名

日程: 半日実習(毎週火曜日)

単位: 1(15週)

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場

担当教員: 遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎・下田代智英・志水勝好・一谷勝之・山本雅史・香西直子・橋本文雄・清水圭一・吉田理一郎・田浦 悟

担当技術職員: 野村哲也・中野八伯・濱田延枝・有働穰嗣・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・谷村音樹・田浦一成・勘米良祥多・片平清美・松元里志・富永輝・石井大介・柳田大輝・飯盛 葵

目標: 農業全般に関する基本技術の習得, 普通作物, 園芸作物のライフサイクルおよび普通作物, 園芸作物および家畜糞尿処理と自然環境の関係を理解させる。

内容: 第12表に示すように, 附属農場4施設(学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場)を回り, 普通作物, 野菜, 花卉, 果樹, 熱帯作物および家畜・堆肥製造のライフサイクルを通じた観察と管理技術の習得を目指した実習を行う。

第12表 農場実習Ⅰ（応用植物科学コースB）の実習内容（平成30年度）

分野別の実習内容							
月日	水稻・普通作物	野菜	花卉	果樹	熱帯作物	家畜	
2018							
10/ 2	オリエンテーション, サツマイモ収穫・調整	根菜・葉菜類播種					
9	イネ収穫, 糶摺り	キク定植					
16							家畜の取扱い・家畜糞尿の観察
23				カキの収穫・脱渋			
30					農業施設ビニル張り, ソラマメ・熱帯果樹管理		

Ⅲ 教育活動

11/ 6	ケナフ収穫・調整	根菜・葉菜類間引き, マメ類管理・ネット 張り			
13 27	小麦播種	タマネギ定植			ヤムイモ収穫, ジャ ガイモ定植, ソラマ メ摘蕾
12/ 4			温州ミカンの収穫		
11		タマネギ除草, マメ 類管理	トルコギキョウ定植		
18 25				カンキツ袋かけ カンキツへの堆肥 施用, ポンカン収 穫	
2019					
1/ 8					セロリ定植, マンゴー 花吊り, スワルスキー 防除
15	小麦中耕・追肥・ 踏圧	根菜類収穫, 食味官能試験	キク・トルコギキョ ウ管理	落葉果樹の剪定	
22		自主栽培説明, マメ 類管理	キク収穫		

注) 普通作物, 野菜, 花卉: 学内農場農事部・指宿植物試験場, 果樹: 唐湊果樹園,  
熱帯作物: 指宿植物試験場, 家畜: 入来牧場

(5) 農場実習Ⅱ (応用植物科学コースA) (必修)

対象: 応用植物科学コース3年(5期), 20名

日程: 半日実習(毎週火曜日)

単位: 1(15週)

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場

担当教員: 遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎・下田代智英・坂上潤一・志水勝好・一谷勝之・山本雅史・香西直子・  
津田勝男・橋本文雄・清水圭一・吉田理一郎・田浦 悟

担当技術職員: 野村哲也・中野八泊・濱田延枝・田浦一成・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・谷村音樹・勘米良  
祥多・有働稜嗣・松元里志・富永 輝・石井大介・柳田大輝・飯盛 葵

目標: 農業全般に関する基本技術の習得, 普通作物, 園芸作物のライフサイクルおよび普通作物, 園芸作物およ  
び家畜糞尿処理と自然環境の関係を理解させる。

内容: 第13表に示すように, 附属農場4施設(学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場)を回  
り, 普通作物, 野菜, 花卉, 果樹, 熱帯作物および家畜・堆肥製造のライフサイクルを通じた観察と管理  
技術の習得を目指した実習を行う。

第13表 農場実習Ⅱ (応用植物科学コースA) の実習内容 (平成31年度)

月日	分野別の実習内容					
	水稻・普通作物	野菜	花卉	果樹	熱帯作物	家畜
2019						
4/ 9	オリエンテーショ ン	タマネギ収穫, 自主 栽培		接ぎ木		
16					熱帯産ヤムイモ定植, パッションフルーツ 管理, 熱帯性植物挿 し木	
23	甘藷定植	エディブルフラワー 定植	トルコギキョウ管理・ 収穫			
5/ 7						堆肥化過程 観察・牛のハ ンドリング
14				草生管理		
21	ケナフ紙漉き, 農 業機械操作					
28				ゴマダラカミキリ 防除		

6/11	水稲播種	自主栽培中間報告			
18				カンキツの施肥	
25	普通期水稲田植え		トルコギキョウ交配 (袋かけ)		
7/ 2				温州ミカンの隔年 交互結実栽培管理	
9					堆肥の品質 評価、ホイ ルローダ運 転実習 (切 返し)
16				ヤマイモ・野菜管理, 熱帯果樹苗の鉢上げ	
23	水稲観察, 小麦製 粉	自主栽培総評・片付 け	トルコギキョウ交配 (交配・説明)		
30				カキの摘果	

注) 普通作物, 野菜, 花卉: 学内農場農事部・指宿植物試験場, 果樹: 唐湊果樹園,  
熱帯作物: 指宿植物試験場, 家畜: 入来牧場

(6) 農場実習Ⅱ (応用植物科学コースB) (必修)

対象: 応用植物科学コース3年 (5期), 20名

日程: 半日実習 (毎週火曜日)

単位: 1 (15週)

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場

担当教員: 遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎・下田代智英・坂上潤一・志水勝好・一谷勝之・山本雅史・香西直子・  
津田勝男・橋本文雄・清水圭一・吉田理一郎・田浦 悟

担当技術職員: 野村哲也・中野八泊・濱田延枝・田浦一成・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・谷村音樹・勘米良  
祥多・有働穰嗣・松元里志・富永 輝・石井大介・柳田大輝・飯盛 葵

目標: 農業全般に関する基本技術の習得, 普通作物, 園芸作物のライフサイクルおよび普通作物, 園芸作物およ  
び家畜糞尿処理と自然環境の関係を理解させる。

内容: 第14表に示すように, 附属農場4施設 (学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場) を回  
り, 普通作物, 野菜, 花卉, 果樹, 熱帯作物および家畜・堆肥製造のライフサイクルを通じた観察と管理  
技術の習得を目指した実習を行う。

第14表 農場実習Ⅱ (応用植物科学コースB) の実習内容 (平成31年度)

分野別の実習内容						
月日	水稲・普通作物	野菜	花卉	果樹	熱帯作物	家畜
2019						
4/ 9	オリエンテーショ ン	タマネギ収穫, 自主 栽培		接ぎ木		
16						堆肥化過程 観察・牛の ハンドリン グ
23				モモ管理		
5/ 7					熱帯産ヤマイモ定植, パッションフルーツ 管理, 熱帯性植物挿 し木	
14	甘藷定植	エディブルフラワー 定植	トルコギキョウ管理・ 収穫			
21				ゴマダラカミキリ 防除		
28	水稲播種	自主栽培中間報告				
6/11				草生管理		
18	ケナフ紙漉き, 農 業機械操作					
25				カンキツの施肥		

Ⅲ 教育活動

7/ 2	普通期水稲田植え	トルコギキョウ交配 (袋かけ)	
9			ヤマイモ・野菜管理, 熱帯果樹苗の鉢上げ
16			堆肥の品質 評価, ホイ ルローダ運 転実習 (切 返し)
23			カキの摘果
30	水稲観察	自主栽培総評・片付 け	トルコギキョウ交配 (交配・説明)

注) 普通作物, 野菜, 花卉: 学内農場農事部・指宿植物試験場, 果樹: 唐湊果樹園,  
熱帯作物: 指宿植物試験場, 家畜: 入来牧場

(7) 農業生産学実習 (地域環境システム学・食料農業経済学1班) (必修)

対象: 地域環境システム学・食料農業経済学 (1班) 2年 (4期), 22名

日程: 半日実習 (毎週金曜日午後)

単位: 1 (15週)

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園

担当教員: 下田代智英・一谷勝之・橋本文雄・清水圭一・吉田理一郎・田浦 悟・遠城道雄・朴 炳宰

担当技術職員: 野村哲也・中野八伯・濱田延枝・有働稜嗣・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優

目標: 農業全般に関する基本技術の習得, 普通・園芸作物のライフサイクルおよび普通・園芸作物などの成長と  
自然環境の関係を理解させる。

内容: 第15表に示すように, 普通作物, 園芸作物 (野菜, 花・観賞植物, 果樹) などの栽培管理技術の習得と播  
種から収穫までの作物のライフサイクルを通じた観察と栽培管理の実習を行う。

第15表 農業生産学実習地域環境システム学・食料農業経済学1班の実習内容 (平成30年度)

分野別の実習内容				
月日	普通作物	野菜	花卉	果樹
2018				
10/ 5	オリエンテーション	葉菜・根菜類播種, マメ類播種	キク定植	
12				柿の収穫・脱渋
19	稲遺伝資源の評価	マメ類間引き, ネット張り	花苗鉢上げ	
26				カンキツへの施肥
11/ 2		葉菜類定植, マメ類管理	キク・トルコギキョウ管理	
9				早生温州収穫
23	小麦播種	タマネギ定植		
30				カンキツの袋掛け
12/ 7		根菜・葉菜類収穫, マメ類収 穫・管理, ハーブ類播種	鉢物寄せ植え	
14				普通温州収穫
21	小麦踏圧	マメ類管理・収穫	キク・鉢物管理	
2019				
1/11				カンキツへの堆肥施用
25	小麦中耕・踏圧・追肥	マメ類管理・収穫, 根菜類の 食味官能試験		
30				落葉果樹の剪定
2/ 1		マメ類管理・収穫, ハーブ類 収穫, タマネギ除草	キク収穫	

注) 普通作物, 野菜, 花卉: 学内農場農事部, 果樹: 唐湊果樹園

(8) 農業生産学実習 (地域環境システム学2班) (必修)

対象: 地域環境システム学 (2班) 2年 (4期), 22名

日程: 半日実習 (毎週金曜日午後)

単位: 1 (15週)

実習施設: 学内農場農事部, 唐湊果樹園

担当教員: 下田代智英・角 明夫・一谷勝之・橋本文雄・清水圭一・吉田理一郎・田浦 悟・遠城道雄・朴 炳宰

担当技術職員: 野村哲也・中野八伯・濱田延枝・有働稜嗣・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優

目標: 農業全般に関する基本技術の習得, 普通・園芸作物のライフサイクルおよび普通・園芸作物などの成長と

自然環境の関係を理解させる。

内容：第16表に示すように、普通作物、園芸作物（野菜、花・観賞植物、果樹）などの栽培管理技術の習得と播種から収穫までの作物のライフサイクルを通じた観察と栽培管理の実習を行う。

第16表 農業生産学実習 地域環境システム学2班の実習内容（平成30年度）

分野別の実習内容				
月日	普通作物	野菜	花卉	果樹
2018				
10/ 5				オリエンテーション 鉢物管理
12		葉菜・根菜類播種、マメ類播種	キク定植	
19				柿の収穫・脱渋
26	稲遺伝資源の評価	マメ類間引き、ネット張り	花苗鉢上げ	
11/ 2				カンキツへの施肥
9		葉菜類定植、マメ類管理	キク・トルコギキョウ管理	
23				早生温州収穫
30	小麦播種	タマネギ定植		
12/ 7				カンキツの袋掛け
14		根菜・葉菜類収穫、ハーブ類播種、マメ類収穫	鉢物寄せ植え	
21				ポンカン収穫
2019				
1/11	小麦踏圧	マメ類管理・収穫	キク・鉢物管理	
25				カンキツへの堆肥施用
30	小麦中耕・踏圧・追肥	マメ類管理・収穫、根菜類の食味官能試験	キク収穫	
2/ 1				落葉果樹の剪定

注) 普通作物、野菜、花卉：学内農場農事部、果樹：唐湊果樹園

(9) 牧場実習（畜産科学コース）（必修）

対象：畜産科学コース2年（3期）、29名

日程：集中実習（5日間）

単位：1

実習施設：入来牧場

担当教員：大島一郎

担当技術職員：片平清美・松元里志・富永 輝・石井大介・柳田大輝・飯盛 葵

目標：

- ・牛の適切なハンドリングが出来る。
- ・黒毛和種の基本的な生理生態および飼養管理を理解し、牛肉生産過程を詳細に説明出来る。
- ・家畜糞尿の堆肥化に関する基礎事項を理解し、その初期の温度・臭気変化を説明出来る。
- ・農業機械の基本的な役割、機能が説明出来る。

内容：入来牧場における黒毛和種の飼養管理、草地管理など肉牛生産の基礎事項を1週間体験することを通して、畜産業を包括的に捉える視野の獲得を目的とする。（第17表）

第17表 牧場実習（畜産科学コース）の実習内容（平成30年度）

月日	実習内容			
2018				
8/20	オリエンテーション（施設、家畜、農業機械類の見学）、牛の保定、ハンドリング、牛体洗浄、ブラッシング			
21	牛の日常管理、子牛・育成・肥育牛体重測定、12時間行動調査			
22	牛の日常管理、飼料原料観察、採草地収量調査、農業機械運転実習、体尺測定・牛体観察、耳標・鼻環装着			
23	牛の日常管理、放牧地巡視、除石、柵点検・補修、牛・馬の群管理、去勢、除角、採血			
24	牛の日常管理、実習課題プレゼンテーション、全体清掃			

(10) 家畜生産学実習Ⅱ（選択）

対象：家畜生産学コース4年（年間），28名

日程：随時

単位：1

実習施設：学内農場畜産部

担当教員：高山耕二・大久津昌治・三好和睦・岡本 新・下桐 猛・中西良孝・大島一郎

目標：

- ・家畜，家禽の飼料作成から堆肥生産までの一連の流れを把握し，実施できる。
- ・家畜，家禽の繁殖，育種を含む飼養管理の応用技術を習得する。

内容：鹿児島大学農学部附属農場学内飼育棟には，ウシ，ヤギ，ミニブタ，ニワトリ，ウズラ，アイガモ，ガチョウといった多様な家畜・家禽が飼育されている。既に，家畜生産学実習Ⅰにおいて，これらの家畜・家禽の飼養管理に関する基本技術を習得済みであるため，本実習ではさらにそれらの応用技術を習得することを目的とする。実習期間は4月から翌年3月までとする。実習時間は午前9時から午後5時までを原則とするが，他講義の履修状況や緊急の動物管理で時間外におよぶこともある。内容によっては小グループに分かれて，共同実習を行う。（第18表）

第18表 家畜生産学実習Ⅱの実習内容（平成30年度）

月日	実 習 内 容
随時	オリエンテーション イタリアンライグラスサイレージ調整 飼育施設の周辺整備・維持管理Ⅰ 堆肥生産 トウモロコシサイレージ調整 飼料生産（堆肥散布，牧草播種） 稲ワラの集草，乾燥 ウシの削蹄 反芻家畜の繁殖管理 ミニブタの繁殖管理 家禽・水禽の繁殖管理 家畜・家禽の生理機能のモニタリング 飼育施設の周辺整備・維持管理Ⅱ 疾病予防と対策 飼料設計

(11) 暖地農業実習（食環境制御科学コース）（必修）

対象：食環境制御科学コース3年（5，6期），25名

日程：集中実習（5期3日間1回，6期3日間1回）

単位：1

実習施設：指宿植物試験場

担当教員：朴 炳宰

担当技術職員：谷村音樹・田浦一成・勘米良祥多

目標：農業全般に関する基礎的技術，観賞作物や果樹，野菜の生長と自然環境との関係，施設園芸栽培技術を理解させる。

内容：第19表に示すように，熱帯・亜熱帯性の野菜，果樹，観賞植物を中心に施設園芸および栽培管理技術に関する実習を行う。

第19表 暖地農業実習（食環境制御科学コース）の実習内容（平成30年度）

月日	指宿植物試験場実習内容
2018	
9/ 4	場内説明，マンゴー接ぎ木，クミスクチン収穫・調整
5	取り木の鉢上げ，ブロッコリー定植，オクラ管理，サトイモ収穫・調整，熱帯果実の試食
6	熱帯果樹管理，セロリ播種，アグリオネマ株分け，ブーゲンビリア誘引
2019	
3/13	場内説明，ライチ取り木，アセロラ挿し木，マンゴー管理
14	栽培施設の管理，ゴレンシ播種，ソラマメ管理，ジャガイモ収穫・定植
15	栽培施設の管理，サトイモ定植，パッションフルーツ誘引

(12) 農場実習Ⅲ (応用植物科学コース) (必修)

対象：応用植物科学コース3年(6期), 41名

日程：集中実習(6期6日間)

単位：1

実習施設：学内農場農事部

担当教員：下田代智英・坂上潤一・志水勝好・角 明夫・一谷勝之・山本雅史・香西直子・吉田理一郎・橋本文雄・清水圭一・津田勝男・坂巻祥孝・遠城道雄・朴 炳宰

目標：2年次の農場実習および農場実習Ⅰ, 3年次の農場実習Ⅱを受けて所属先の教育研究分野でより専門的な技術を習得する。

内容：第20表に示すように, コース全員で稲の収量および品質調査の方法を学び, 残りの5日分は所属する教育研究分野での専門的な技術に関する実習を行う。

第20表 農場実習Ⅲ (応用植物科学コース) の実習内容 (平成30年度)

月日	実 習 内 容
2018	
10/ 6	学内農場農事部においてイネの収量・品質調査
他5日	所属する教育研究分野において専門的技術に関する実習

(13) 獣医臨床基礎実習

対象：共同獣医学部4年(7期), 33名

日程：集中実習(5日間)

単位：1

実習施設：入来牧場

担当教員：大島一郎

担当技術職員：片平清美・松元里志・富永 輝・石井大介・柳田大輝・飯盛 葵

目標：

- ・牛の適切なハンドリングが出来る。
- ・黒毛和種の基本的な生理生態および飼養管理を理解し, 牛肉生産過程を詳細に説明出来る。
- ・家畜糞尿の堆肥化に関する基礎事項を理解し, 説明出来る。
- ・農業機械の基本的な役割, 機能が説明出来る。
- ・畜産現場における問題点や課題を発見でき, 獣医師としての適切な指導法を考察する。

内容：入来牧場における黒毛和種の飼養管理, 草地管理など肉牛生産の基礎事項を1週間体験することを通して, 獣医師として飼料・家畜・糞尿といった畜産業を包括的に捉える視野の獲得を目的とする。(第21表)

第21表 獣医臨床基礎実習 (共同獣医学部) の実習内容 (平成30年度)

月日	実 習 内 容
2018	
9/ 3	オリエンテーション(施設, 家畜, 農業機械類の見学), 牛の保定, ハンドリング, 牛体洗浄, ブラッシング
4	牛の日常管理, 子牛・育成・肥育牛体重測定, 12時間行動調査, 農業機械運転
5	牛の日常管理, 糞尿処理と堆肥製造, 去勢, 除角
6	牛の日常管理, 体尺測定, 耳標装着, 鼻環装着, 飼料観察, 牛舎の衛生管理, 草地と鳥獣害
7	牛の日常管理, 実習課題グループワーク, 全体清掃

(14) フィールド実習 (必修)

対象：国際食料資源学特別コース2年, 31名

日程：集中実習(3期4日間)

単位：1

実習施設：学内農場農事部, 唐湊果樹園, 指宿植物試験場, 入来牧場

担当教員：遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎

担当技術職員：野村哲也・中野八伯・濱田延枝・有働稜嗣・福留弘康・廣瀬 潤・西澤 優・谷村音樹・田浦一成・勘米良祥多・片平清美・松元里志・富永 輝・石井大介・柳田大輝・飯盛 葵

目標：農業の基本的な作物の栽培技術, 家畜飼養技術を体験する。

内容：附属農場4施設(学内農場農事部・唐湊果樹園・指宿植物試験場, 入来牧場)で1日ずつ終日実習を行うことで, 第22表に示すように各施設の特徴を活かした作物栽培, 家畜飼養技術を学習する。

第22表 フィールド実習の実習内容（平成30年度）

分野別の実習内容				
月日	学内農場農事部	唐湊果樹園	指宿植物試験場	入来牧場
2019				
2/12			セロリ・ジャガイモの管理 (芽かき, 追肥など) ソラマメの管理 (摘蕾, 摘果 等) マンゴー管理 (花吊り・ 玉吊り)	
2/13				オリエンテーション 施設見学 ハンドリング ブラッシング
2/14		草生管理 (敷草) タンカン・不知火の収穫		
2/15	野菜および花卉の育苗・栽培管理など			

## 2 講義

農場専任教員の大学院および学部での講義は以下の通りである。

### 1) 大学院

- ・国際農業資源学特論 (後期・2単位) 遠城道雄
- ・作物生産学特別研究 (通年・2単位 分担) 遠城道雄・朴 炳宰
- ・食と健康 I (前期・2単位 分担) 遠城道雄・朴 炳宰
- ・家畜生産学特別研究 (通年・2単位 分担) 大島一郎

### 2) 農学部

- ・卒業論文 (通年・6単位 分担) 遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎
- ・栽培技術論 (前期・2単位) 遠城道雄・朴 炳宰
- ・畜産科学概論 (後期・2単位 分担) 大島一郎
- ・家畜生体機構学 (後期・2単位) 大島一郎
- ・国際農業資源学 (後期・2単位) 遠城道雄・朴 炳宰

### 3) 共通教育

- ・博物館資料論 (前期・2単位 分担) 朴 炳宰
- ・国際協力農業体験講座 (前期・2単位 分担) 遠城道雄・大島一郎
- ・国際協力論 (後期・2単位 分担) 遠城道雄
- ・英語 V (前期・1単位) 遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎
- ・英語 VI (後期・1単位) 遠城道雄・朴 炳宰・大島一郎